

第 5 章 期待する少子化施策

第5章 期待する少子化施策

5-1 結婚を支援する施策

結婚を支援する施策について、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」が46.8%と最も高く、次いで「安定した雇用環境を提供すること」が46.1%、「夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実」が39.3%となっている。

男女別では、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」（男性50.1%、女性44.7%）、「結婚したほうが有利となるような税制を行うこと」（男性36.1%、女性23.3%）、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」（男性27.5%、女性19.6%）で男性の方が高く、「夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実」（男性31.2%、女性45.4%）で女性の方が高くなっている。

年齢別では、40歳代で「安定した雇用環境を提供すること」が51.0%と多くなっている。また、年代が上がるほど、「出会いの場を提供すること」が、年代が下がるほど、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」の割合が多くなっている。

性別・子どもの有無別では、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」、「安定した雇用環境を提供すること」が男女子どもの有無に関係なく割合が多くなっている。また、女性で子どもがいない人で「夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実」が、男性で子どもがいる人で「結婚したほうが有利となるような税制を行うこと」が多くなっている。

結婚の有無別では、「結婚したほうが有利となるような税制を行うこと」（既婚32.7%、未婚18.3%）で14.4ポイント既婚の割合が高く、一方で「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」（既婚20.0%、未婚28.9%）8.9ポイント、「夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実」（既婚37.9%、未婚42.5%）で4.6ポイント、未婚の割合が高くなっている。

図5-1 結婚を支援する施策（3つ以内選択）

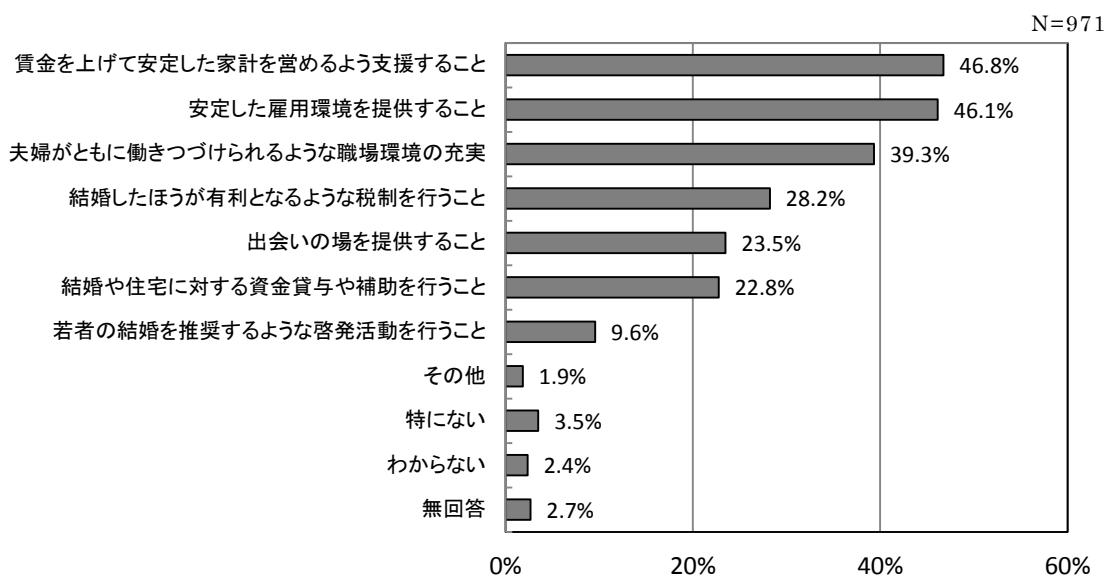


表5-1 結婚を支援する施策（3つ以内選択）

	回答者数	賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること	安定した雇用環境を提供すること	夫婦がともに働きつづけるような職場環境の充実	結婚したほうが有利となるような税制を行うこと	出合いの場を提供すること	結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと	若者の結婚を推奨するような啓発活動を行うこと	その他	特になし	わからない	無回答
総数	971	46.8%	46.1%	39.3%	28.2%	23.5%	22.8%	9.6%	1.9%	3.5%	2.4%	2.7%
男女別												
男性	385	50.1%	46.0%	31.2%	36.1%	23.6%	27.5%	10.6%	2.1%	3.9%	1.8%	1.6%
女性	571	44.7%	46.8%	45.4%	23.3%	23.3%	19.6%	8.6%	1.8%	3.3%	2.8%	2.6%
年齢別												
20歳代	184	47.3%	41.8%	44.0%	21.7%	16.3%	39.7%	9.2%	0.5%	3.8%	1.1%	3.3%
30歳代	334	47.9%	43.4%	38.0%	34.4%	21.9%	24.0%	7.8%	2.1%	3.6%	2.7%	1.5%
40歳代	431	46.2%	51.0%	39.0%	26.7%	27.6%	14.8%	10.7%	2.1%	3.5%	2.8%	2.3%
性別・子どもの有無												
男性子ども無し	174	55.2%	46.6%	30.5%	27.0%	26.4%	28.7%	9.8%	3.4%	4.0%	1.7%	1.1%
男性子ども有り	207	46.9%	44.4%	31.4%	44.0%	21.3%	26.1%	11.6%	0.5%	3.9%	1.9%	1.9%
女性子ども無し	194	44.8%	51.5%	50.0%	13.9%	20.1%	29.4%	5.2%	1.5%	5.7%	2.6%	1.0%
女性子ども有り	372	44.9%	44.6%	43.3%	28.2%	25.3%	14.8%	10.5%	1.9%	2.2%	2.7%	3.0%
結婚の有無												
既婚	670	46.4%	46.3%	37.9%	32.7%	23.9%	20.0%	10.6%	1.5%	2.7%	2.1%	3.3%
未婚	301	47.5%	45.8%	42.5%	18.3%	22.6%	28.9%	7.3%	2.7%	5.3%	3.0%	1.3%

5-2 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策

安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策については、「産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を推進する」が 43.6%（前回選択項目なし）と最も割合が多く、次いで「出産育児一時金(42万円)を増額する」が 34.7%（前回 37.2%）、「妊娠中の健康診断を無料化する」が 34.1%（前回 50.5%）の順となっている。

男女別では、「産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を推進する」が男性で 39.2%、女性で 47.3% と共に高く、男性で「出産育児一時金(42万円)を増額する」(41.0%) が、女性で「妊娠中の健康診断を無料化する」(37.5%) が高くなっている。

年齢別では、20歳代で「出産育児一時金(42万円)を増額する」、30歳代、40歳代で「不妊治療に対する助成を拡充する」が多くなっている。

性別・子どもの有無別では、男女とも子どもがいない人のほうが「産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を推進する」の割合が多く、男女とも子どもがいる人のほうが「不妊治療に対する助成を拡充する」が高くなっている。

図 5-2 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策（3つ以内選択）

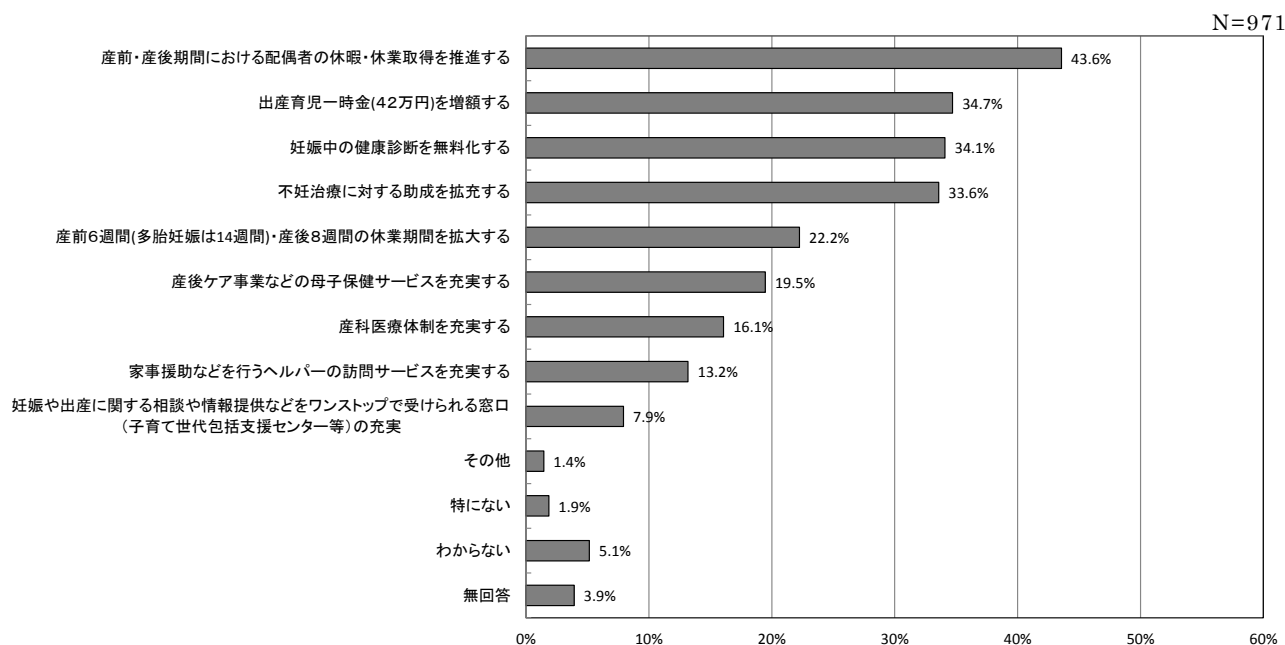


表5-2-1 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策（3つ以内選択）

	回答者数	産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を促進する	出産育児一時金（42万円）を増額する	妊娠中の健康診断を無料化する	不妊治療に対する助成を拡充する	産前6週間（多胎妊娠は14週間）・産後8週間の休業期間を拡大する	産後ケア事業などの母子保健サービスを充実する	産科医療体制を充実する	家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する	妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口（子育て世代包括支援センター等）の充実	その他	特になし	わからない	無回答
総数	971	43.6%	34.7%	34.1%	33.6%	22.2%	19.5%	16.1%	13.2%	7.9%	1.4%	1.9%	5.1%	3.9%
男女別														
男性	385	39.2%	41.0%	29.4%	30.4%	22.6%	19.5%	16.1%	9.9%	7.8%	1.0%	2.1%	7.8%	3.1%
女性	571	47.3%	31.0%	37.5%	36.3%	22.4%	19.6%	16.3%	15.6%	8.2%	1.8%	1.8%	3.3%	3.3%
年齢別														
20歳代	184	52.7%	42.4%	36.4%	17.4%	33.7%	21.2%	13.6%	8.7%	7.6%	1.6%	1.1%	4.9%	3.8%
30歳代	334	47.3%	35.3%	31.7%	39.8%	21.3%	16.5%	14.7%	14.4%	8.1%	2.4%	2.7%	5.1%	3.3%
40歳代	431	37.8%	32.0%	35.7%	36.9%	18.8%	21.1%	18.6%	14.2%	8.4%	0.7%	1.6%	5.3%	2.6%
性別・子どもの有無														
男性子ども無し	174	43.7%	36.2%	21.3%	20.1%	24.7%	21.8%	13.2%	10.3%	12.1%	0.6%	3.4%	11.5%	1.7%
男性子ども有り	207	35.7%	45.9%	35.7%	39.1%	21.3%	17.4%	17.9%	9.2%	3.9%	1.4%	1.0%	4.8%	3.9%
女性子ども無し	194	53.6%	30.9%	33.5%	33.5%	28.4%	23.2%	15.5%	10.3%	11.9%	1.5%	2.1%	6.7%	1.0%
女性子ども有り	372	44.6%	31.5%	39.2%	37.9%	19.6%	17.7%	16.9%	17.7%	6.5%	1.9%	1.6%	1.3%	4.3%
就業形態別														
正社員・正規職員	505	43.8%	38.2%	33.3%	34.3%	26.5%	20.8%	16.8%	12.3%	6.9%	1.4%	1.8%	5.7%	2.6%
派遣・契約・期限付きの社員・職員	51	64.7%	23.5%	23.5%	39.2%	19.6%	15.7%	15.7%	11.8%	17.6%	2.0%	0.0%	2.0%	2.0%
パート・アルバイト・非常勤	181	45.9%	28.7%	39.2%	34.3%	20.4%	17.1%	18.8%	12.2%	9.9%	1.1%	1.7%	2.2%	4.4%
自営業・家族従業	51	33.3%	35.3%	31.4%	23.5%	9.8%	15.7%	11.8%	15.7%	13.7%	2.0%	2.0%	9.8%	2.0%
内職・在宅勤務	3	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
学生	29	51.7%	41.4%	31.0%	13.8%	24.1%	20.7%	10.3%	17.2%	3.4%	0.0%	3.4%	10.3%	0.0%
専業主婦・主夫	109	37.6%	37.6%	40.4%	42.2%	19.3%	22.9%	13.8%	16.5%	3.7%	1.8%	2.8%	0.9%	4.6%
無職	15	46.7%	6.7%	20.0%	6.7%	0.0%	20.0%	6.7%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%	26.7%	13.3%
その他	7	28.6%	57.1%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%
1週間の労働時間別														
20時間未満	235	38.7%	35.7%	35.3%	30.6%	18.3%	16.6%	14.9%	15.3%	8.5%	1.7%	1.3%	5.5%	5.1%
20～40時間未満	138	49.3%	28.3%	44.2%	31.2%	22.5%	20.3%	19.6%	12.3%	6.5%	2.2%	2.2%	2.9%	1.4%
40～50時間未満	217	47.9%	34.6%	29.5%	36.9%	27.6%	22.6%	16.1%	10.6%	10.6%	0.9%	0.9%	6.5%	0.9%
50～60時間未満	98	50.0%	44.9%	30.6%	38.8%	23.5%	18.4%	21.4%	13.3%	6.1%	1.0%	1.0%	5.1%	1.0%
60時間以上	80	42.5%	33.8%	28.8%	33.8%	30.0%	13.8%	13.8%	8.8%	8.8%	2.5%	5.0%	5.0%	7.5%

表5-2-2 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策（前回調査）

	回答者数	出産育児一時金（42万円）を増額する	不妊治療に対する助成を拡充する	妊娠中の健康診断を無料化する	産前6週間（多胎妊娠は14週間）・産後8週間の休業期間を拡大する	母子保健サービスを充実する	家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する	産科医療体制を充実する	その他	特になし	わからない	無回答
総数	1,387	37.2%	35.6%	50.5%	26.3%	27.0%	13.8%	28.9%	3.0%	2.7%	4.8%	2.3%
男女別												
男性	492	43.7%	28.7%	43.5%	23.2%	28.7%	12.6%	28.0%	2.8%	1.8%	6.7%	3.0%
女性	816	33.3%	40.9%	54.5%	28.4%	26.2%	14.8%	29.8%	3.3%	3.2%	3.2%	1.2%

5-3 育児を支援する施策

育児を支援する施策として何が重要かについて、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」が48.3%（前回46.4%）と最も高く、次いで「教育費への支援を充実する」が29.6%（前回24.7%）、「保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する」が28.5%（前回31.6%）となっている。

男女別では、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」（男性54.0%、女性45.0%）は男性の割合が多く、「育児休業をとりやすい職場環境を整備する」（男性21.8%、女性30.5%）、「フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を押し進める」（男性18.4%、女性26.4%）は女性の割合が多くなっている。

年齢別では、年代が上がるほど、「教育費への支援を充実する」の割合が多くなっている。また、年代が下がるほど、「育児休業をとりやすい職場環境を整備する」、「時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する」、「育児休業中の所得保障を充実する」、「子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する」の割合が多くなっている。

性別・子どもの有無別では、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」、「教育費への支援を充実する」、「子ども医療費への支援を充実する」では男女ともに子ども無しより子ども有りの割合が多くなっている。一方で「育児休業をとりやすい職場環境を整備する」、「フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を押し進める」、「時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する」などで男女ともに子どものいない人が概ね割合が多くなっている。

就業形態別では、派遣・契約・期限付きの社員・職員が「保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する」51.0%と高くなっており、その他の就業形態では「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」の割合が多くなっている。

世帯年収別では、すべての年収別で「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」が最も多くなっている。

5-3 育児を支援する施策（3つ以内選択）

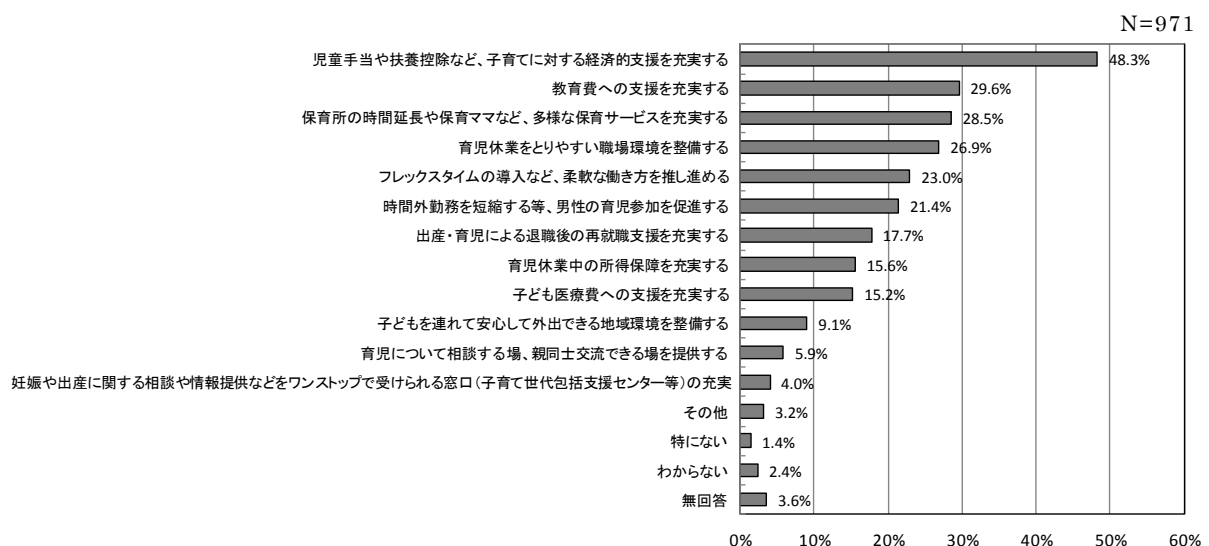


表5-3 育児を支援する施策（3つ以内選択）

回答者数	児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する	教育費への支援を充実する	保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスの充実	育児休業をとりやすい職場環境を整備する	フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推進する	時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する	出産・育児による退職後の再就職支援を充実する	育児休業中の所得保障を充実する	子ども医療費への支援を充実する	子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する	育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する	妊産や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口（子育て世代包括支援センター等）の充実	その他	特になし	わからない	無回答	
総数	971	48.3%	29.6%	28.5%	26.9%	23.0%	21.4%	17.7%	15.6%	15.2%	9.1%	5.9%	4.0%	3.2%	1.4%	2.4%	3.6%
男女別																	
男性	385	54.0%	31.9%	27.3%	21.8%	18.4%	23.4%	15.8%	16.4%	16.9%	8.1%	5.5%	3.1%	2.9%	1.6%	3.1%	1.8%
女性	571	45.0%	27.8%	29.8%	30.5%	26.4%	20.5%	18.9%	15.2%	14.0%	10.0%	6.3%	4.7%	3.5%	1.4%	1.9%	3.9%
年齢別																	
20歳代	184	48.4%	22.3%	27.2%	38.0%	24.5%	25.0%	19.0%	20.1%	12.0%	12.0%	3.8%	2.7%	2.2%	0.5%	2.2%	2.7%
30歳代	334	51.2%	30.5%	30.5%	26.6%	22.8%	22.5%	15.6%	18.6%	11.4%	10.5%	5.1%	3.0%	3.9%	2.1%	1.8%	2.1%
40歳代	431	47.3%	31.8%	27.8%	22.5%	22.7%	19.5%	18.8%	11.6%	19.3%	7.0%	7.4%	5.6%	3.2%	1.4%	3.0%	3.9%
性別・子どもの有無																	
男性子ども無し	174	45.4%	20.7%	22.4%	26.4%	21.8%	27.6%	16.7%	17.8%	14.9%	7.5%	6.9%	4.6%	2.9%	2.9%	5.7%	0.6%
男性子ども有り	207	61.8%	41.5%	31.4%	17.9%	15.9%	19.8%	15.0%	15.0%	17.9%	8.7%	4.3%	1.9%	2.9%	0.5%	1.0%	2.4%
女性子ども無し	194	37.1%	14.9%	35.6%	39.7%	33.5%	21.1%	21.1%	21.6%	9.3%	8.2%	7.7%	6.2%	3.6%	1.5%	3.6%	1.5%
女性子ども有り	372	49.2%	34.4%	27.2%	26.1%	22.8%	20.4%	17.7%	12.1%	16.4%	10.8%	5.6%	4.0%	3.5%	1.3%	0.8%	4.8%
就業形態別																	
正社員・正規職員	505	49.1%	27.9%	31.5%	27.9%	24.0%	22.8%	15.0%	19.6%	14.9%	8.5%	4.4%	3.2%	4.0%	1.2%	3.0%	2.0%
派遣・契約・期限付きの社員・職員	51	33.3%	19.6%	51.0%	33.3%	37.3%	19.6%	25.5%	11.8%	15.7%	3.9%	7.8%	3.9%	5.9%	0.0%	0.0%	2.0%
パート・アルバイト・非常勤	181	50.3%	34.8%	24.3%	25.4%	21.0%	19.9%	16.0%	11.6%	18.2%	8.8%	7.7%	5.0%	2.2%	2.2%	1.1%	5.0%
自営業・家族従業	51	43.1%	31.4%	17.6%	15.7%	21.6%	9.8%	21.6%	19.6%	23.5%	5.9%	11.8%	3.9%	0.0%	3.9%	5.9%	2.0%
内職・在宅勤務	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
学生	29	48.3%	27.6%	27.6%	37.9%	34.5%	31.0%	20.7%	6.9%	13.8%	0.0%	6.9%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
専業主婦・主夫	109	54.1%	33.9%	22.9%	26.6%	18.3%	24.8%	25.7%	7.3%	11.0%	16.5%	6.4%	4.6%	1.8%	0.9%	0.9%	4.6%
無職	15	33.3%	20.0%	6.7%	33.3%	13.3%	26.7%	26.7%	13.3%	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%
その他	7	57.1%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%
世帯年収別																	
300万円未満	78	38.5%	17.9%	29.5%	21.8%	23.1%	16.7%	19.2%	15.4%	19.2%	14.1%	7.7%	7.7%	3.8%	3.8%	6.4%	1.3%
300万円以上500万円未満	226	51.8%	37.2%	24.3%	24.8%	20.4%	19.5%	16.8%	16.4%	16.8%	10.2%	7.1%	3.5%	3.5%	0.4%	3.1%	2.7%
500万円以上700万円未満	247	49.0%	29.6%	26.7%	31.2%	20.2%	23.1%	16.6%	14.6%	16.2%	9.7%	5.7%	3.2%	4.0%	2.0%	2.0%	2.8%
700万円以上1,000万円未満	249	54.2%	31.7%	29.7%	24.9%	26.9%	22.1%	18.5%	17.3%	12.9%	6.0%	4.8%	2.8%	2.8%	0.8%	1.2%	4.4%
1,000万円以上	125	41.6%	23.2%	40.8%	30.4%	28.8%	25.6%	18.4%	16.0%	14.4%	8.0%	4.8%	4.8%	2.4%	1.6%	2.4%	0.8%

表5-3-2 育児を支援する政策（3つ選択）（前回調査）

回答者数	育サービスを充実する	保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスの充実	児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する	職場環境を整備する	育児休業をとりやすい職場環境を整備する	フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推進する	時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する	育児休業中の所得保障を充実する	出産・育児による退職後の再就職支援を充実する	子ども医療費への支援を充実する	子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する	育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する	その他	特になし	わからない	無回答
総数	1,387	31.6%	46.4%	28.5%	20.9%	16.9%	13.7%	23.9%	23.9%	24.7%	11.3%	8.2%	1.9%	1.2%	2.4%	2.5%

5-4 地域における住民同士の助け合い

地域社会における住民同士の助け合いについては、「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」が40.8%と最も高く、次いで「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」が34.4%、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」が33.6%の順となっている。

男女別では、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」(男性28.1%、女性38.9%)などで女性の割合が高くなっている。

年齢別では、年代が下がるほど、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動」が、年代が上がるほど、「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」の割合が多くなっている。

性別・子どもの有無別では、子どものいる男女で「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」(男性52.7%、女性44.6%)の割合が多く、子どもがいない男女で、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」(男性48.9%、女性42.8%)、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」(男性29.9%、女性42.3%)の割合が多くなっている。

一緒に暮らしている人別では、自分の父、自分の母、自分のきょうだいは「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」が、配偶者(事実婚を含む)、子ども、配偶者の父、配偶者の母は「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」の割合が高くなっている。また、配偶者の父、配偶者の母と暮らしている人はほかの人と暮らしている人に比べ「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」の割合が多くなっている。

図5-4 地域における住民同士の助け合い(3つ以内選択)

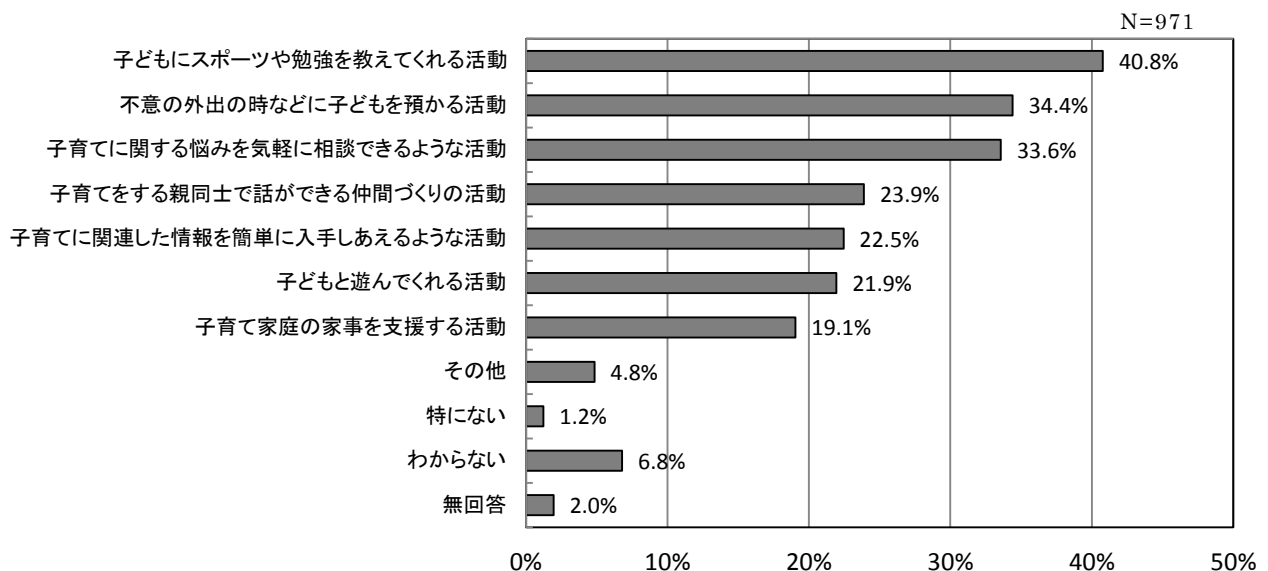


表5-4 地域における住民同士の助け合い（3つ以内選択）

	回答者数	子どもにスポーツや勉強を教 えてくれる活動	不意の外出の時に子ども を預かる活動	子育てに関する悩みを気軽に 相談できるような活動	子育てをする親同士で話がで きる仲間づくりの活動	子育てに関連した情報を簡単 に入手しあえるような活動	子どもと遊んでくれる活動	子育てで家庭の家事を支援する 活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
総数	971	40.8%	34.4%	33.6%	23.9%	22.5%	21.9%	19.1%	4.8%	1.2%	6.8%	2.0%
男女別												
男性	385	42.3%	28.1%	36.9%	25.2%	20.8%	20.8%	16.9%	5.5%	1.0%	8.3%	1.0%
女性	571	40.3%	38.9%	31.7%	23.6%	23.5%	22.9%	20.7%	4.4%	1.4%	6.0%	1.6%
年齢別												
20歳代	184	38.0%	28.8%	37.5%	28.3%	22.8%	23.4%	19.6%	6.0%	1.1%	4.3%	2.2%
30歳代	334	41.3%	35.9%	28.7%	25.1%	22.2%	26.3%	20.7%	5.1%	1.2%	7.8%	1.2%
40歳代	431	42.5%	36.0%	36.4%	22.3%	22.5%	18.1%	17.4%	4.2%	1.4%	7.2%	1.2%
性別・子どもの有無												
男性子ども無し	174	31.0%	29.9%	48.9%	27.6%	28.2%	15.5%	17.2%	7.5%	1.1%	7.5%	0.6%
男性子ども有り	207	52.7%	26.1%	26.6%	22.7%	14.5%	25.1%	16.4%	3.9%	0.5%	9.2%	1.4%
女性子ども無し	194	32.0%	42.3%	42.8%	23.7%	28.4%	17.0%	21.6%	7.2%	2.1%	4.6%	1.0%
女性子ども有り	372	44.6%	37.1%	26.3%	23.9%	21.0%	26.1%	20.4%	3.0%	1.1%	6.7%	1.3%
一緒に暮らしている人別												
配偶者（事実婚を含む）	628	46.8%	34.7%	28.2%	24.5%	20.7%	24.0%	19.6%	3.7%	1.0%	6.8%	1.4%
子ども	562	48.4%	33.3%	25.8%	23.1%	18.0%	26.2%	18.9%	3.4%	0.9%	7.7%	1.4%
自分の父	216	31.5%	33.3%	43.5%	25.0%	25.5%	16.7%	18.1%	8.3%	1.4%	5.1%	0.9%
自分の母	260	32.7%	30.0%	40.0%	22.7%	24.6%	18.1%	16.5%	9.2%	1.2%	6.2%	1.5%
配偶者の父	22	54.5%	45.5%	22.7%	18.2%	18.2%	13.6%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
配偶者の母	38	47.4%	42.1%	26.3%	18.4%	28.9%	21.1%	18.4%	0.0%	2.6%	10.5%	0.0%
自分のきょうだい	103	34.0%	28.2%	49.5%	30.1%	25.2%	21.4%	20.4%	10.7%	1.0%	2.9%	1.0%
その他	50	48.0%	36.0%	28.0%	22.0%	18.0%	24.0%	14.0%	6.0%	2.0%	8.0%	0.0%
子どもの人数別												
1人	154	45.5%	36.4%	34.4%	25.3%	20.8%	24.7%	17.5%	1.9%	0.6%	5.2%	1.3%
2人	279	47.0%	34.4%	22.9%	21.9%	18.6%	27.2%	20.4%	3.9%	0.0%	8.2%	0.7%
3人	97	50.5%	27.8%	22.7%	27.8%	17.5%	21.6%	17.5%	4.1%	2.1%	11.3%	2.1%
4人	10	50.0%	10.0%	40.0%	10.0%	0.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%
5人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6人	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

5-5 はぐみん・はぐみんデーの認知度

(1) はぐみんの認知度

本県の『子育て・子育て応援マスコットキャラクター（はぐみん）』の認知度は、「見たことがあり、名前も知っている」が48.8%（前回38.4%）で上昇している一方で「見たことはあるが、名前は知らなかった」が7.9%（前回8.0%）、「見たことがなく、名前も知らなかった」が41.7%（前回51.3%）と減少しており、前回調査より認知度は上昇している。

男女別では、「見たことがあり、名前も知っている」が男性29.4%（前回22.8%）、女性62.5%（前回48.8%）と男女ともに上昇している。

性別・子どもの有無別では、女性で子どもがいる人で「見たことがあり、名前も知っている」が79.3%と認知度が高くなっているが、男女とも子どものいない人が「見たことがなく、名前も知らなかった」の割合が多くなっている。

図5-5-1 はぐみんの認知度

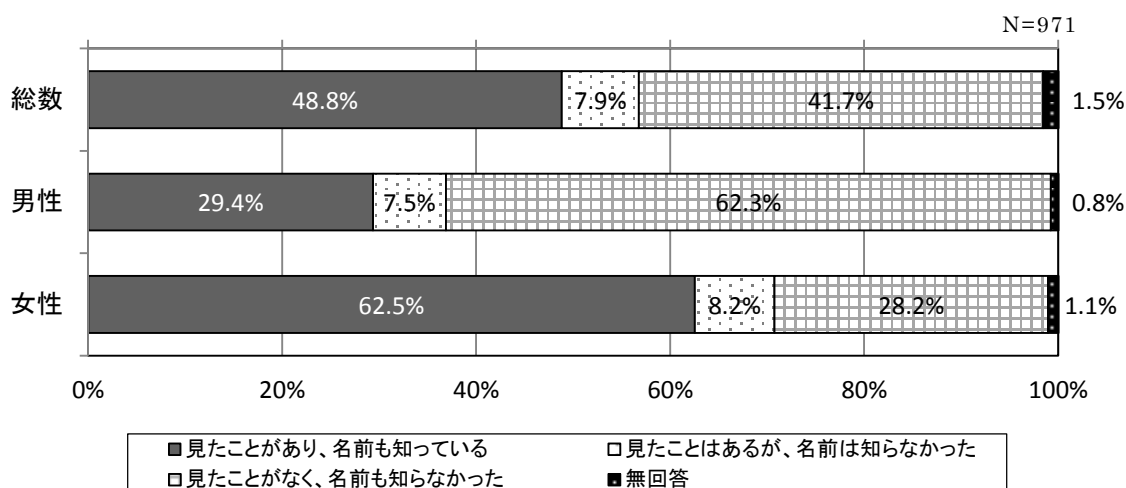


表5-5-1 はぐみんの認知度

	回答者数	見たことがあり、名前も知っている	見たことはあるが、名前は知らなかった	見たことがなく、名前も知らなかった	無回答
総数	971	48.8%	7.9%	41.7%	1.5%
男女別					
男性	385	29.4%	7.5%	62.3%	0.8%
女性	571	62.5%	8.2%	28.2%	1.1%
年齢別					
20歳代	184	39.7%	8.2%	51.1%	1.1%
30歳代	334	50.6%	6.9%	41.6%	0.9%
40歳代	431	52.2%	8.6%	38.3%	0.9%
性別・子どもの有無					
男性子ども無し	174	11.5%	5.2%	82.8%	0.6%
男性子ども有り	207	44.9%	9.7%	44.4%	1.0%
女性子ども無し	194	31.4%	7.2%	59.8%	1.5%
女性子ども有り	372	79.3%	8.3%	11.8%	0.5%

図 5 - 5 - 2 はぐみんの認知度（前回調査）

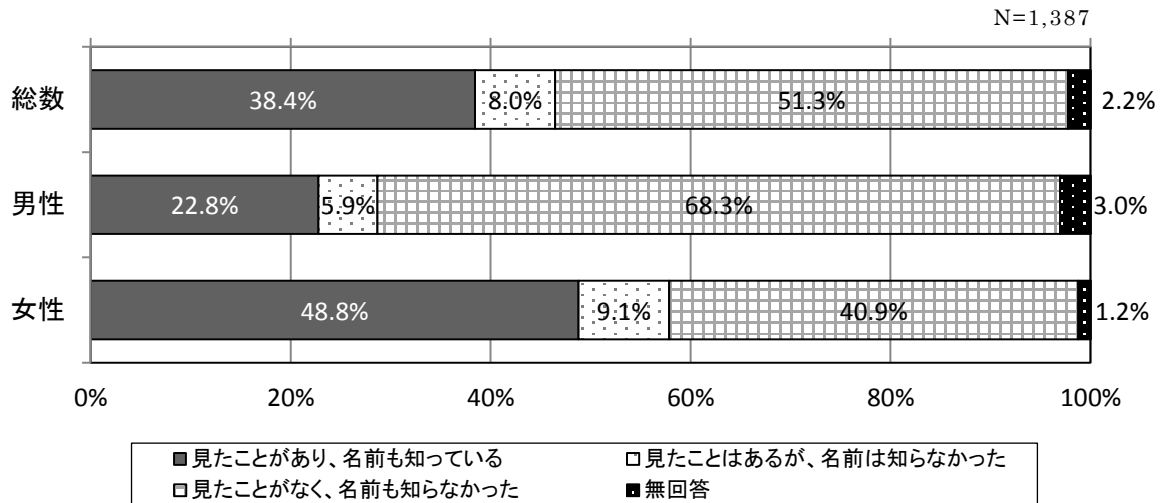


表 5 - 5 - 2 はぐみんの認知度（前回調査）

	回答者数	見たことがあり、名前も知っている	見たことはあるが、名前は知らなかった	見たことがなく、名前も知らなかった	無回答
総数	1,387	38.4%	8.0%	51.3%	2.2%
男女別					
男性	492	22.8%	5.9%	68.3%	3.0%
女性	816	48.8%	9.1%	40.9%	1.2%
年齢別					
20歳代	316	21.8%	7.3%	69.0%	1.9%
30歳代	463	49.0%	9.3%	40.8%	0.9%
40歳代	527	40.6%	7.0%	49.5%	2.8%
性別・子どもの有無					
男性子ども無し	225	5.3%	2.7%	88.9%	3.1%
男性子ども有り	262	37.8%	8.8%	50.8%	2.7%
女性子ども無し	308	18.5%	10.1%	70.1%	1.3%
女性子ども有り	507	67.1%	8.5%	23.3%	1.2%

(2) はぐみんデーの認知度

本県で定めた毎月 19 日の「子育て応援の日（はぐみんデー）」の認知度について、「趣旨・内容についてよく知っている」が 3.3%（前回 2.4%）、「趣旨・内容について少しは知っている」が 10.6%（前回 8.3%）となっている一方で「全く知らなかった」が 63.3%（前回 69.7%）で 6.4 ポイント減少となり、「子育て応援の日（はぐみんデー）」の認知度は上昇している。

男女別では、「全く知らなかった」が男性で 77.4%（前回 78.9%）で 1.5 ポイント減少、女性で 54.3%（前回 63.7%）で 9.4 ポイント減少している。

年齢別では、すべての年代で「全く知らなかった」の割合が最も多いが、20 歳代では 70.1%（前回 84.8%）と 14.7 ポイント減少となっている。

図 5 - 5 - 3 はぐみんデーの認知度

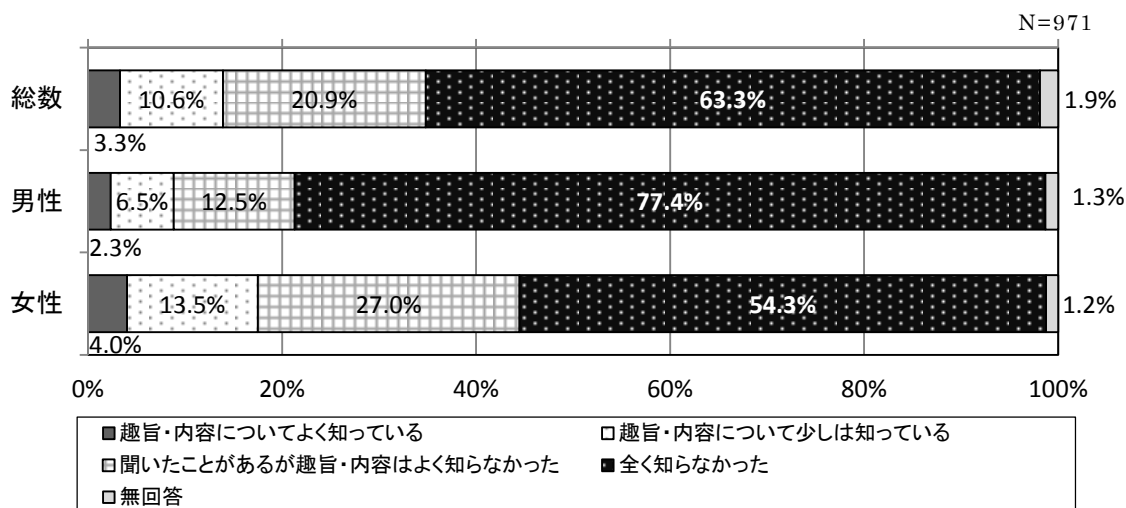


表 5 - 5 - 3 はぐみんデーの認知度

	回答者数	趣旨・内容についてよく知っている	趣旨・内容について少しは知っている	聞いたことがあるが趣旨・内容はよく知らなかった	全く知らなかった	無回答
総数	971	3.3%	10.6%	20.9%	63.3%	1.9%
男女別						
男性	385	2.3%	6.5%	12.5%	77.4%	1.3%
女性	571	4.0%	13.5%	27.0%	54.3%	1.2%
年齢別						
20歳代	184	3.3%	9.8%	15.8%	70.1%	1.1%
30歳代	334	3.3%	9.9%	21.9%	63.8%	1.2%
40歳代	431	3.5%	11.8%	22.7%	60.6%	1.4%
性別・子どもの有無						
男性子ども無し	174	0.6%	2.9%	7.5%	88.5%	0.6%
男性子ども有り	207	3.9%	9.7%	16.9%	67.6%	1.9%
女性子ども無し	194	0.5%	8.2%	11.3%	78.4%	1.5%
女性子ども有り	372	5.9%	16.4%	34.9%	42.2%	0.5%

図 5 - 5 - 4 はぐみんデーの認知度（前回調査）

N=1,387

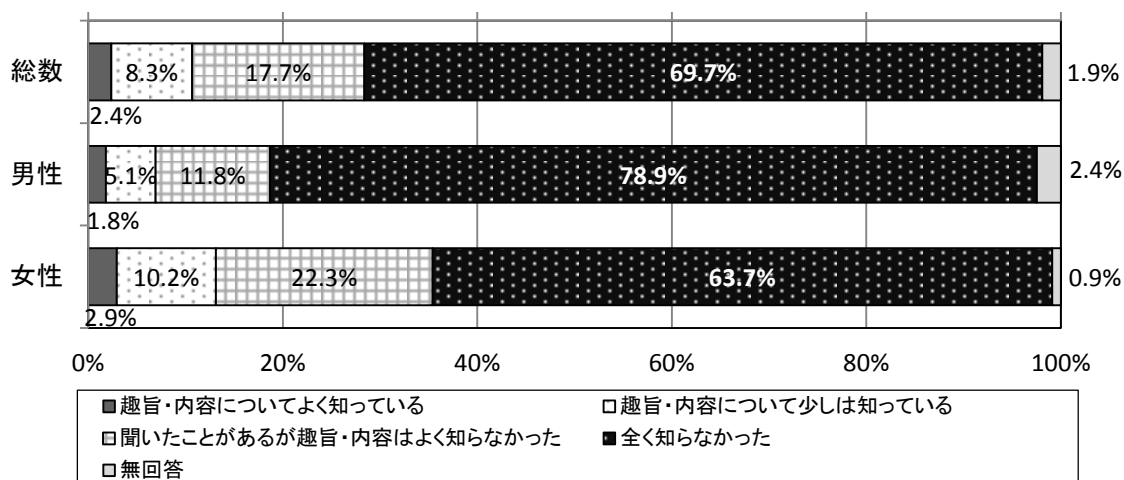


表 5 - 5 - 4 はぐみんデーの認知度（前回調査）

	回答者数	趣旨・内容についてよく知っている	趣旨・内容について少しは知っている	聞いたことがあるが趣旨・内容はよく知らなかった	全く知らなかった	無回答
総数	1,387	2.4%	8.3%	17.7%	69.7%	1.9%
男女別						
男性	492	1.8%	5.1%	11.8%	78.9%	2.4%
女性	816	2.9%	10.2%	22.3%	63.7%	0.9%
年齢別						
20歳代	316	1.3%	3.2%	9.8%	84.8%	0.9%
30歳代	463	3.7%	10.6%	21.4%	63.5%	0.9%
40歳代	527	2.3%	9.3%	20.9%	65.3%	2.3%
性別・子どもの有無						
男性子ども無し	225	0.4%	1.3%	5.8%	90.2%	2.2%
男性子ども有り	262	2.7%	8.4%	17.2%	69.5%	2.3%
女性子ども無し	308	1.9%	2.9%	9.1%	85.1%	1.0%
女性子ども有り	507	3.6%	14.4%	30.4%	50.9%	0.8%